

18回総会

ミナト横浜で



38号

日本たぬき学会
会長・大平正道
事務局 〒529-1851
滋賀県甲賀市信楽町
長野 459-2
TEL0748-82-0073
Fax0748-82-0373



★第18回 日本たぬき学会 総会★

日時=9月5日(土曜日) 14:00スタート
場所=横浜海洋会館・3階会議室
(神奈川県横浜市中央区海岸通1丁目1)
電話=045-201-7786(横浜海洋会館)
交通=①東海道新幹線「新横浜」駅下車→J
R横浜線「横浜」駅で「みなとみらい」乗り換え
3分目「日本大通」駅で下車→徒歩約5分。
大棧橋の手前、横浜開港資料館の道路を隔
てた海側。
②あるいはJR横浜線で、そのまま横浜・桜木
町経由「関内」駅下車→「神奈川県庁」、もし
くは「大棧橋」方面へ徒歩約15分。

★懇親会★

同日15:45スタート〜18:15お開き予定
(この時刻なら各地帰郷・各所宿泊可能?)

★宿泊★

総会を機に疎遠の親戚・知人を訪問予定の
会員もおられることでしょうか、宿泊は原則
各人対応とします。なお会場付近の宿泊ホテル
などは本紙3面(次々ページ)ホテル案内
をご参照

★観光案内(翌6日・希望者のみ)★

横浜港内各施設を見学(大バース・赤レン
ガ倉庫群)・市内各地(横浜中華街・赤い靴
バスなど)。「日本丸」を見学・搭乗体験(これ
は見モノ!)「日本丸」は海国ニッポンが世界
に誇る日本最大の超大型帆船。横浜商
船大学生がロマン満載で遠洋航海練習に用
いる。神戸商船大学の「海王丸」とは兄弟帆
船。満帆!真っ白!の勇姿が印象的だ。

参加人数等を把握するため申し込み用紙を同封し
ています。ご予約ご記入の上、ご返送よろしく。なお、
27年度の会費2,000円を同封の用紙にてお振
込みをおねがいます。新規会員も募集中。ご紹介
ください。日本丸・海王丸は共に
元航海訓練所所属の練習帆船/姉妹船

面目を一新した「港・横浜」ウォーターフロントの最近影。中央
がランドマークタワー。横浜ロイヤルパークホテルは、この中
に。右側は、おなじみ?…「スイカを8分割したような」形のヨコ
ハマ・コンチネンタルホテル

角田昌男氏を、ご記憶の読者も多いだろう。昨年の中津川大会では自作の「横浜狸
物語」をスライド映写しつつ講演して頂いた御仁。長く航空界に尽力の後、横浜市の中
心街のマンションで悠々自適。地域活動に傾注する一方、有数のタヌキ研究家であり、
自ら数代に渡る狸一族の保護育成者を任じている。大会には「分福茶釜」伝説で名高い
茂林寺(群馬県・館林市)住職の古川正道師(会員)も参加・講話予定。また翌六日
には角田氏らの案内で、赤煉瓦倉庫群、中華街、赤い靴バスなど港内・市街名所巡り、
さらには横浜港に入港している大型練習帆船「日本丸」の乗船体験などが計画されて
いる。日本たぬき学会としては初の関東大会——期待が膨らむ。

世話人に「横浜狸物語」の角田城代

日本たぬき学会の第十八回大会(総会・懇親会)は、九月五日(土)神奈川県横浜
市中区の横浜海洋会館で行われることに決定。先ごろ、会場の下見を兼ねて大平会長
と横浜城代の角田昌男(かどたまさお)氏が事前打ち合せをした。総会は午後二時か
ら一時間半ほど会館三階の会議室で、続いて午後三時四十五分から同階のマリンクラ
ブで二時間半ほどの懇親パーティを開催。同スペースは会員制クラブの施設だが、角田氏
は同会々会員であるところから前向きな計らいが得られる。大会参加費用は一人あた
り五千円(交通費・宿泊費別。宿泊は各自手配)横書き囲み記事(参照)。

9月5日(土)

山下公園直近の海洋会館 初の関東大会に期待

狸検定に挑戦 ⑨

動物としてのタヌキ、文化としての狸…「Tanuki」は実
に多面的な存在です。

当学会々員歴 数十年の古狸サンでさえ「知っているよう
で 知らない 不思議な存在…Tanuki」に関する疑問・
質問・解説を集めた狸タイムズお楽しみ連載「狸検定に挑
戦」一今号は、その9回目。前号までの「狸伝説」に続い
て、独自の習性をもつ「野生タヌキ」についてクイズ形式
で綴ってまいります。



前狸座々長・植田郁氏の苦心の労作(草稿)を基に、日
本たぬき学会では単行本「狸の不思議—狸検定」として刊
行しようと準備を進めています。上梓の時には会員諸氏
のご購読を期待しつつ…。

さて、今号では以下の9問に挑戦!してみましょう。

第20問 (野生の狸)

- 《3》 タヌキの生息地は、主に何処でしょう?
(イ) アジア東北部 (ロ) 日本のみ
(ハ) ヨーロッパ (ニ) ロシア
- 《4》 北海道に生息するタヌキの種類は?
(イ) ほんど狸 (ロ) さつま狸
(ハ) えぞ狸 (ニ) さぬき狸
- 《5》 「ムジナ」と呼ばれている動物は?
(イ) キツネ (ロ) タヌキ
(ハ) ヤマネコ (ニ) シカ

【解説と解答】タヌキは、日本、中国、韓国などアジア東
北部を中心に生息しています。北海道には「エゾタヌキ」、本
州、四国、九州には「ホンダタヌキ」が生息し、ほぼ全土に
分布しています。

ケモノ篇に里と描く狸は、日本では人里に近い森林に多く
生息し、昔から人の暮らしに深く関わってきた関係から狸伝
説や民話は各地に残り伝承されています。

猪や鹿、野猿などのように農作物や人家に被害を及ぼすこ
ともなく、攻撃的でないため人に迷惑をかけない特異な習性
から、昔からタヌキに対して日本人は好意的でした。

日本書紀などの歴史書に出てくる「ムジナ」はタヌキのこ
とで、今でも一部の地域では、この愛称が残っています。

一方、タヌキは国際的には珍獣と見做されてきました。
狸の毛皮が防寒用に重宝がられていた時代にヨーロッパに
タヌキが輸出されたことがあります。ドイツやフィンランド
では毛皮を目的に飼育もされました。その一部が野生化して
繁殖するようになったため現在では在来の野生動物の生態系
や分布にも影響しているようです。

従って解答は次のようになります。
解答 問《3》…(イ) 《4》…(ハ) 《5》…(ロ)。



さて《野生タヌキ》に関する疑問・質問を続けましょう。



暑中
お見舞い
申し上げます

皆さま宛、金沢の
井家利之氏の葉書

天然記念物になったタヌキの島に関する記述について、次
の問いに答えてください。

《6》天然記念物に指定されているタヌキの生息地は?

- (イ) 向島 (ロ) 屋島
- (ハ) 宮島 (ニ) 沖島

《7》指定された時期、向島にいたタヌキの生息数は?

- (イ) 10,000頭 (ロ) 20,000頭
- (ハ) 30,000頭 (ニ) 50,000頭

《8》その後、向島のタヌキは何頭に減少した?

- (イ) 約100頭 (ロ) 約50頭
- (ハ) 約25頭(推定) (ニ) 約15頭

【解説と解答】山口県の防府市に近接する向島は、大正15
年にタヌキの生息地として天然記念物に指定されました。
当時は、島全体に約20,000頭(推定)が生息していて「タ
ヌキの島」として有名になっていました。

その頃タヌキの毛皮や毛が防寒具や毛筆に最適とされ需要
が増えたため乱獲が進み、昭和10年ごろには3,000頭
に減少してしまいました。

また昭和25年には本土と向島を結ぶ錦橋が架設されたため
島に野犬などが侵入してタヌキの生息環境が急変して、一時
期僅か25頭が確認されるまでに減少しました。原因は乱獲
や野犬被害にとどまらず農薬や作物田畑の減反など生息環境
の悪化が指摘されています。現在、市民ボランティアによっ
て保全活動が行われています。解答は次の通りです。

《6》…(イ) 《7》…(ロ) 《8》…(ハ)。

〇…初の関東大会と聞いて思い出した一冊があつたので、埃を払って閲覧してみた。

〇…著者・醇堂曰く「狐狸は熟字にして四脚中相親しく兄弟たるものの如し」と記されている一文には200年ほど前の江戸(東京)の風景・人情が活写されている。

〇…今もそうだが江戸には、お稲荷さんが矢鱈多かったようだ。一言居士の醇堂先生、コレが相当気に喰わなかったようで

〇…「等しく洞窟に棲みて生を営むを、一は祠宇の壇に昇り万物の霊に頭を垂れて礼拝せしめ、一はその榮なく、ただカチカチ山・茂林寺の昔話に笑いをとりてやむ…」。

〇…悲憤の主・醇堂先生は幕末の大秀才・太放言で知る人ぞ知る。天保時代、荒蕪草芥の麻布の狸穴(まみあな)に住み姓は大谷木(おおやぎ)。

「おおたにき」、転じて「おおたぬき」と読んだ世人もいたらしい。(柳)

横浜・海洋会館で待ってるヨ

1面掲載のように18回総会は横浜海洋会館で開催される。横浜といえば、古くは美空ひばりの歌のイメージ…日本屈指の港町。♪♪長あ〜がい旅路の航海終えたマドロスさんの集う港町…という具合だが、近年は大きく変貌しているようだ。そこでレトロな横浜、最近のベイエリア・ヨコハマを角田氏のご案内で巡ってみた。読者、乞う、ご期待！。ハマで待ってるよ！



【横浜海洋会館】日本大通の海側終点の外装煉瓦ビル。お隣の昭和ビル、レストランとともに港町横浜を演出した昭和レトロそのものの建物。大倉土木（現大成建設）の施工、昭和4年の竣工。元々は旧大蔵商事の本社ビルだった。“大倉”は戦前を代表する旧財閥で、東京・虎ノ門のホテルオークラ、京都の祇園会館など今に残る“富”を象徴する建物”は数少なくなったが、この海洋会館もその一つ。



【マリクラブ】懇親会は会議室横、マリクラブで盛り上がり。時代がかって言えば紳士・淑女の会員制社交場だが、クラブ幹事さんと角田氏との信頼関係で、総会出席の狸学会々員にも“開放”していただいた。愉かに狸人生を語りあいましょう。



【こちら会議室】ここで総会議事。



【横浜中華街】日本を代表する国際港湾都市の「中華街」。その規模と雰囲気には圧倒されること間違いなし。写真は街の中央にある「関帝廟」。



【狸の居る蕎麦屋】会場近くの名物そば「味奈登」さん。こちらの味とボリュームにも圧倒されるだろう。



貴重なタヌキ一家の記録写真や狸の文化史を綴った自作「横浜狸物語」を解説する角田昌男氏（昨年の中津川総会で）



【海と山】港町横浜を堪能……左側が山下公園、右側は豪華客船も停泊する大バスの海側



東洋一の大バースが待っています

★会場近辺のホテル★

ホテルの手配などは各自対応をお願いします。ご参考までに会場近くのホテルの概要と受付℡を記しておきます（角田氏から情報提供）。

・ヨコハマグランドインターコンチネンタル（ツイン2人35000円以上。℡045-223-2222）。

・横浜ロイヤルパーク（ツイン2人35000～40000円以上。℡045-201-1111）。

・横浜ベイホテル東急（ツイン2人35000～40000円程度から。℡045-682-2222）。

以上が、みなとみらい地区の「3大高級ホテル」と自認する宿泊施設。次に会場に一番近い山下公園前のホテルは…

・ホテルニューグランド（ツイン2人35000～45000円、℡045-681-1841）。

次に桜木町駅と赤レンガ倉庫近くのリーズナブルホテルを。

・横浜桜木町ワシントンホテル（ツイン2人10000～15000円程度。℡045-683-3111）。

・ナビオス横浜（ツイン2人20000円程度、℡045-633-6000）。

茂林寺住職が講話

会員諸氏ご周知「分福茶釜」の茂林寺（群馬県館林市）住職・古川正道師が横浜総会に出席、講話されることになった。同師は父君から住職を引き継いで9年目。これまでも高松・屋島・徳島・小松島・壬生川・松山・甲賀（信楽・水口）などを訪れて、先々代（祖父）からの“狸縁”を深耕されている。

「分福茶釜」は曹洞宗の名刹・茂林寺の開山僧・大林正通に随行した僧・守鶴が大茶会に用いた茶釜の不思議と、守鶴の正体が実は古狸であったという意外のストーリーで知られる。

同寺に伝わる伝説を童話に脚色したのが明治大正の作家：巖谷小

茂林寺境内の狸と茶釜



波（いわやこなみ）。焼物の狸で名高い信楽の隣町・水口（みなくち）所縁の人で、古川氏が同地を訪れているのも頷ける。横浜講演が楽しみだ。

若柳雅康さん公演

舞踊家・若柳雅康さんも狸学会の横浜総会に参加、日本舞踊「昔噺狸」を公演して頂くことになった。雅康さんは伝統300年の正派若柳

流々流儀会長・鵬翁（祖父）、理事長・吉三次（父）の下で日本舞踊を徹底的に修業、国立大劇場、渡米公演歴も保持する斯界の“スター”。活動の傍ら得意演目「昔噺狸」100回公演をライブワークにさ



艶やか若柳雅康さんの「昔話狸」

れている。過去、信楽狸学会にも参加されたこともある。今度の横浜公演が楽しみだ。

千日前の太狸さま

横浜大会とは直接の関係はないが、全国たぬき巡りの大阪版——。恐らく大阪市内でも「1、2番を争うのやないか？」と言われているのが大阪ミナミ千日前の「炬ばた焼たぬき茶屋」（中央区千日前2-6-9）の巨大な狸像。写真に見るように庇屋根ギリギリの大きさ。裕に2メートルは超えようというモノ。

店舗が出来たのは……？ 同店のホームページに曰く。「昭和26年（1951）、ようやく配給米制度が終わって、力道山（分かりますか？）がプロレスにデビューしたころ」というからすごい。

なんと！ 屋根・庇の高さも大狸の大きさに合わせたとか



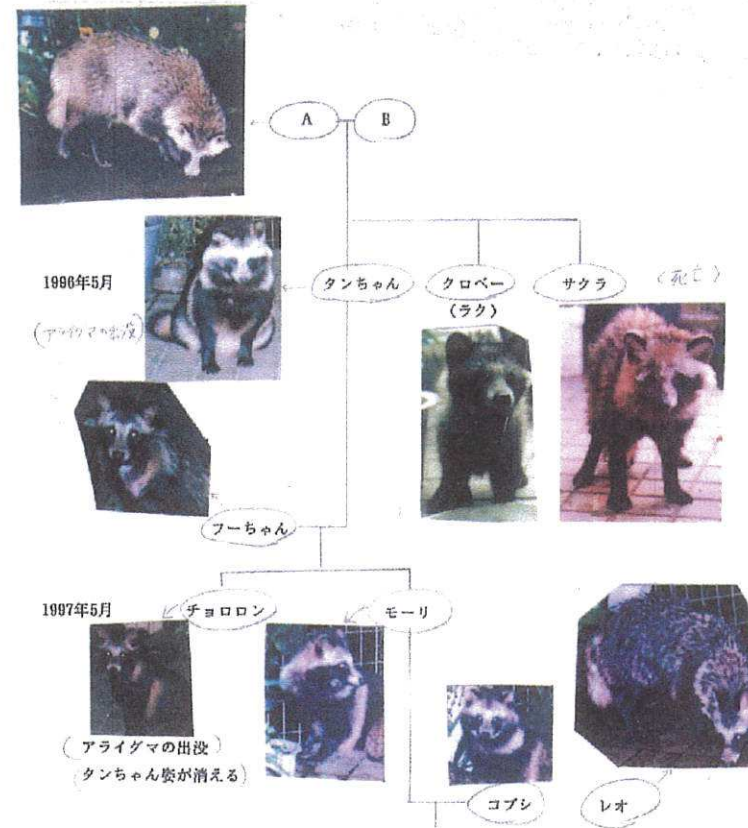
千日前は空襲で辺り一面の焼野原になったこともあって戦争の惨禍消えやらぬ頃、そんな街かどに巨大な狸が出現。道行く人はさぞ、驚いたことだろう。「炬ばた焼たぬき茶屋」は地下鉄「日本橋駅」から徒歩5分。

横浜市に住宅街の角田昌男氏宅に一匹の狸が迷い込んだのが一九五五年というから、今から二〇年も前になる。以来、角田氏は数世代に渡って野生の狸一家との付き合いを続けてこられた。



初代。胸の負傷は病気？それとも

狸一家の家系図も 労作「横浜狸物語」



自作の記録集「横浜狸物語」には出産間近の母親狸、授乳、じゃれ合い、お昼寝など文字通りの特徴シーンも。氏の狸一家一族への思いが伝わってくる。詳細・余録・雑感も総会でお楽しみ。



「これぞ本物・狸寝入り」は超珍品の1枚